

令和 6 年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	26	学校名	茨城県立佐和高等学校					課程	全日制		学校長名	鈴木 猛				
教頭名	平野 敬靖										事務(室)長名	長戸 義徳				
教職員数	教諭	41	養護教諭	1	常勤講師	1	非常勤講師	2	実習教諭、実習講師、実習助手	1	事務職員	3	技術職員等	2	計	54
生徒数	小学科		1年		2年		3年		4年		合計		合計 クラス数			
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
	普通科		103	137	93	143	110	125			306	405	18			

2 目指す学校像

- (1) 平和と社会の正義を重んじ、誠実で自主的な実践力のある人間の育成
- (2) 人格の陶冶と学力の向上に努め、真理を求める創造性豊かな人間の育成
- (3) 文学や芸術を愛し、情操豊かな幅広い教養を身に付けた人間の育成
- (4) 国家や郷土を愛するとともに、自他を敬愛し、協調と連帯の精神に富む人間の育成
- (5) 心身の錬磨に努め、強靱な体力と忍耐力を備えた人間の育成

3 三つの方針 (スクール・ポリシー)

育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	地域社会に貢献する、心豊かな人間の育成
教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	生徒一人一人の多様な学習ニーズに対応した学習活動とキャリア教育による、進路希望の実現
入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	自分の進路実現を目指し、主体的に日々努力する生徒

4 現状分析と課題 (数量的な分析を含む。)

項目	現状分析	課題
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で深い学びの実現のために、積極的にロイロノート等の教育ソフトを使い、クロームブック、電子黒板等のICTの活用に取り組んでいる。 多くの生徒は真面目に学習に取り組んでいるが、家庭学習時間の確保及び学習習慣の確立は十分とはいえない。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人の学習習慣及び学習到達度を把握した上で、学年・教科と連携し、より一層授業の工夫・改善を図る必要がある。
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> 多様な進路希望に対応するため、進路別ガイダンス等の充実を図っている。 生徒の進路希望の実現のため、進路指導部と学年の連携を密にしながら進路指導を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒自身が、自らの適性を見極め、目指す進路を真剣に考え、自主的に学習に取り組むように個別指導・支援の充実を図る必要がある。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶の励行、服装や髪型など、日常生活上での基本がしっかりした生徒が多く、校則を守ろうという意識も高い。しかし、注意を受けないでいると、安易に周囲に流されてしまう生徒もいる。 職員全員の共通理解を図るとともに、PTAや地域の協力も得ながら、規範意識の高揚に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 規範意識の向上を図るために、生徒の内面に訴える手立てを更に工夫する必要がある。 気軽に相談できる雰囲気을大切に、積極的に生徒の心の悩みを吸い上げ、健全な学校生活を送れるよう対処する必要がある。
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 部活動への参加率は高く、多くの生徒が熱心に活動に励んでいる。 キャリア・パスポートの一貫した活用方法について、更に検討していく必要がある。 心の教育の一環として、ボランティア活動への参加を積極的に進めている。例年、「全校ボランティアデー」を実施し、全校生徒が各種ボランティアを体験している。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が目的意識を持ち、意欲ある学校生活を送るため、キャリア・パスポートの更なる活用を推進していく必要がある。 ボランティア活動による豊かな心の育成を確かなものにするため、参加率の向上や取り組み内容等の工夫・改善を図る必要がある。
働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> ワーク・ライフ・バランスの考えが浸透しつつあるが、在校時間が長時間となっている教職員も存在する。 	<ul style="list-style-type: none"> 業務効率化を図る意識を醸成するとともに、超過勤務の傾向が見られる教職員の負荷を軽減するための対策を講じる必要がある。

5 中期的目標

生徒の自己実現に資する教育活動 1 生徒一人一人の学力向上と進路希望の実現を目指し、創意を生かした活力に富む学校づくりを目指す。 2 生徒支援の充実と生徒指導の徹底を図るとともに、体験活動、ボランティア活動を積極的に推進し、校訓「君の心に聴け」を基盤とした「心の教育」の充実を図る。 3 特別活動の充実、部活動の活性化を推進し、心身の調和のとれた発達と個性の伸長及び自主・自立の精神に富む生徒の育成を図る。 4 学校の現状を踏まえ、教職員の仕事と生活のバランスを考慮した働き方改革の推進を図る。

6 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
授業改善を通じた確かな学力を育む学びの推進	(1) 協働的な学びと ICT 機器を活用した質の高い授業づくりの推進 (2) 授業改善に向けた校内研修の実施と教員による相互授業参観の推進 (3) 生徒による授業評価 (授業満足度) 平均 3.5 (昨年度 3.4) 以上の実現
豊かな心の育成	(1) 豊かな人間性と社会性を身に付ける特別活動の充実 (2) 思いやりや助け合いの心を育成する社会奉仕体験活動の推進 (3) 一人一人に寄り添う教育相談の体制と生徒支援の充実
未来を拓き夢を実現するキャリア教育の充実	(1) 一人一人の個性に寄り添った個別の進路指導・支援の充実 (2) 進路に関する実践的・体験的な活動の推進とキャリア・パスポートの活用の促進 (3) 自己の可能性の追求や自己実現に向けたキャリア・カウンセリング機会の確保
地域住民に開かれ、信頼される学校づくり	(1) 地域のボランティア活動や行事等への積極的な参加の促進 (2) 地域に信頼される学校を目指す広報活動の充実と学校公開の推進 (3) 地域社会・保護者と連携した一体感のある学校づくりの推進
教職員の働き方改革	(1) 長時間労働の解消に向けた教職員在校等時間の詳細な把握・分析 (2) 校務分掌の見直しによる教職員のワーク・ライフ・バランスの実現 (3) 教職員の勤務時間の適正化の推進